

5. 東海（地域別調査機関：（株）U F J 総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・客の様子、販売量とも若干良くなっている。予想される総選挙も好材料に働くように感じている。		
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・6月以降急に回復の兆しが見えてきた。この動きは3か月継続しているので、本物と確信している。		
		百貨店（企画担当）	・競合百貨店の増床にあわせ、各百貨店とも大規模な改装に着手している。競争は激化するが、街が活性化すれば消費にもつながる。		
		百貨店（企画担当）	・購買意欲が堅調ななかで、地域でリニューアル開店、増床、対抗イベントが相次ぎ、消費がさらに喚起されて全体の売上も増加する。		
		スーパー（総務担当）	・デジタル商品などの動きが活発である。		
		スーパー（仕入担当）	・夏の異常気象も落ち着き、来客数、販売量とも堅調に回復していく。		
		乗用車販売店（経営者）	・他社が9月以降メイン車種のフルモデルチェンジで新型車を相次いで投入するため、市場全体が活性化される。		
		乗用車販売店（経営者）	・株価が堅調に推移しており、一部で仕事が忙しいという客も出てきていることから、多少は柔軟な動きに推移していく。		
		乗用車販売店（従業員）	・新型車効果は継続するものではないため、消費税の増税前の駆け込み需要を期待している。		
		乗用車販売店（営業担当）	・今後は小型車ばかりでなく大型車の動きも出てくる。		
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊、宴会の予約状況は前年に引き続いて良い状況である。特に婚礼宴会は過去5年間で最高の受注となっている。		
		都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況は全体的に良くないが、今年よりは良くなる見込みがある。		
		旅行代理店（従業員）	・SARSの再発生がなければやや良くなる。		
		通信会社（企画担当）	・これから年末にかけて新サービス、新エリアなどの活況材料があり、多少は道が開けてくる。		
		住宅販売会社（従業員）	・賃貸住宅への入居志向が強く、単身用、ファミリー用と用途に適した設備が整っているアパートに関心が高い。		
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・見積などの問い合わせが増えており、9月以降の受注増が見込まれる。		
		変わらない		商店街（代表者）	・景気に変化は感じられないが、購入客は増加している。
				一般小売店〔結納品〕（経営者）	・状況に変化はなく推移していく。
				百貨店（売場主任）	・秋冬物商品を求める客が増加してきたが、サイズ等が品薄状態で悪戦苦闘している。
				百貨店（売場主任）	・秋の改装など話題性はあるが、単発的なものであり、その後は買控えが予測される。
百貨店（経理担当）	・外商を中心に売上が伸び悩んでいる。				
百貨店（販売促進担当）	・セールの売上は好調に推移しているが、高額品の秋物の動きが鈍く、今後の伸びには疑問を感じている。				
スーパー（店長）	・常に天候に左右される状況にある。今年のようなメリハリのない気候の年は低迷する確率が高い。				
スーパー（店長）	・余分な物は購入しない傾向が定着しており、この状況はまだまだ続く。				
コンビニ（エリア担当）	・酒類の規制緩和により良い効果が現れると思うが、競合店の出店が止まっていないのが懸念される。				
コンビニ（エリア担当）	・売上の前年割れ状況は今後も続き、同業他社や量販店との競合もさらに厳しくなっていく。				
コンビニ（エリア担当）	・競合店が増加しさらに厳しい状況になる。				
コンビニ（店長）	・現在は10年来の最低水準にあり、これ以上には悪くならない。				
家電量販店（経営者）	・客の慎重な買い方に変化はみられない。				
乗用車販売店（従業員）	・上向きの兆候は見られるが、大きな変化はない。				
住関連専門店（店員）	・今が良い状況とは言えないが、今後それほど下がる要因もないため、このままの状況が続く。				

		高級レストラン（スタッフ）	・夏休みの影響が平日の来客数は若干回復しているが、週末の来客数は減少しており、全体として動意に乏しい。底ばい状態が続いており、回復の兆しはまったく見えない。
		一般レストラン（スタッフ）	・値下げで来客数は増加しているが、売上に変化はなく、景気の上昇は難しい。
		観光型ホテル（スタッフ）	・海外旅行から国内旅行への振り替えが出ており、宿泊予約に明るさはあるが、全体では例年並みである。
		都市型ホテル（スタッフ）	・来客数は横ばいであるが、競争の激化と客がデフレに慣れてしまったことで、客単価は上昇しない。
		通信会社（営業担当）	・新規契約は増加しているが、解約件数も多く、この状況は継続する。
		テーマパーク（職員）	・今後もレジャー費用の節約が予想される。
		ゴルフ場（企画担当）	・来客数は見込めるが、夏の値引き料金からの引き上げがどこまでできるかが売上回復の鍵となる。
		美容室（経営者）	・家で散髪してもらう子供の数が増加している。
		美容室（経営者）	・客の目はかなり厳しくなっており、固定客はそのままだが、新規客は動かない傾向にある。
		その他サービス〔珠算塾〕（経営者）	・これ以上は下がりようがないところまで来ているので、大きな変化はないが、少しずつこの業界が消えてしまう不安感がある。
		その他サービス〔パチンコ機器製造販売〕（エリア担当）	・商談件数、物件数において好材料、悪材料ともになく、このまま推移していく。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・天候不順の影響が今後も出てくる。
		スーパー（店長）	・客単価は一層低下傾向にあり、維持、回復の兆しが見えない。
		スーパー（店員）	・競合店が特売をかけていることもあり、景気が上向くことは考えられない。
		スーパー（店員）	・来客数当たりの買物点数や単価が減少している。客の財布のひもは一層固くなっている。
		コンビニ（経営者）	・酒類業界は自由化が加速的に進んでおり、どのような状態で落ち着くのか想像できない。店ではアルコール飲料の比率を下げて売上を伸ばす工夫が重要である。
		コンビニ（エリア担当）	・競合相手の淘汰がさらに進まない限り状況は良くなるはない。
		ゴルフ場（経営者）	・先々の予約状況から判断すると、来客数の好転は期待できない。客単価も下がり続けており、経営は厳しさを増している。
		理美容室（経営者）	・客は予定のある時にしか来店しない傾向にある。
		設計事務所（経営者）	・実設計につながる案件がかなり減少している。
		住宅販売会社（従業員）	・金利の上昇はアパート建設に対してマイナス要因となり、厳しくなる。
	住宅販売会社（業務担当）	・住宅関連のデフレ傾向はまだまだ続く。競争激化もデフレに拍車をかけ、ますます経営が苦しくなっている。	
	悪くなる	コンビニ（店長）	・スクラッチ宝くじはこれまで完売していたが、これさえ売れ残るようになってきた。消費者の余裕のなさを感じられる。
		設計事務所（職員）	・同業者をみても景気が悪いところばかりで、答えようがないくらいの状況である。
企業動向関連	良くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・窯業界の景況の先行指標となる新規住宅着工件数が好調に推移している。今後2～3か月先も好調が持続する。
	やや良くなる	建設業（総務担当）	・顧客の設備投資が動き出しており、受注できている。
		食料品製造業（経営者）	・販売量など商品の動きが活発になる。
		化学工業（人事担当）	・悪い材料は見当たらず、株価も上昇していることから、非常に緩やかであるが景気は上向いている。
		広告代理店（制作担当）	・滞っていた印刷物の企画が、部分的ではあるが動き始めている。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・平均株価が1万円台で定着しつつあり、中小企業経営者は新しい試みをしやすくなっている。	
変わらない	金属製品製造業（従業員）	・設備投資の受注は前月に引き続き厳しい状況であり、現在の水準を維持できるかどうか懸念される。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・受注が減少してきているが、売上には変化がない。この売上が通常になりつつある。海外進出も一段落し極端に悪化することは考えられない。	
	電気機械器具製造業（従業員）	・供給不足の品薄感から先行注文があったが、それが過ぎて状況は落ち着いてくる。	

		輸送用機械器具製造業（工務担当）	・1日当たりの生産計画は高水準を保っており、今後もこの状態を維持する。
		輸送業（エリア担当）	・秋物商品が前倒しになったことにより、今後は物量が薄くなる。
		輸送業（エリア担当）	・大手自動車メーカーへ納入する部品などの輸入が急増している。従来の国産部品を輸入品に切り替えているため、当分景気は良くならない。
		金融業（企画担当）	・顧客企業は目先のコスト削減への意欲が強く、まだまだ余裕がない状況である。
		公認会計士	・金融機関、特に都銀の貸出姿勢が変わっていない。 ・金利が上昇する気配があり、中小企業の財務内容に大きな影響が出る。 ・大手企業はリストラを終えて利益を出しているかもしれないが、中小企業は企業淘汰が一巡していない。
		税理士	・人件費率は例年通りであり、積極的な投資などもない様子から、悪い状況をまだまだ脱しきれてない。
	やや悪くなる	金属製品製造業（従業員）	・工場生産は増えるものの、価格低下の本格的な影響が出てきて利益に結びつかないという懸念がある。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・景気が悪く、設備投資まではまわらない状況である。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・生産の内示数量が引き続き厳しいものになっている。
		企業広告制作業（経営者）	・新規の取引が見込めない。
	悪くなる	非鉄金属製品製造業【鋳物】（経営企画）	・例年比で見積数は増加していない。販売単価も低下傾向にあり、今後は今以上に悪くなる。
		経営コンサルタント	・郊外団地は値下げをしても売却できないため、地価の弱含みは継続する。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・下期にかけて人材派遣の予約が入っており、さらに需要が増える。
		人材派遣会社（社員）	・派遣需要は対前年比で20%以上増加しており、上向き傾向である。スキルや経験を要する職種では人材不足が出始めている。
		人材派遣会社（営業担当）	・工場従業員の受注依頼が増加している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・企業の採用人数が増えている。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	・求人は前年並みで推移しており特に好材料はないが、株価など周辺の状況に好感する企業も多く、心理的な押し上げが期待できる。
		職業安定所（所長）	・新規求人が増加している。
		職業安定所（職員）	・小規模事業所を中心に少人数の人員整理が続いているが、大規模な人員整理はみられない。 ・管内の基幹産業である製造業の求人は増減を繰り返しながらもやや増加傾向であり、他の業界も直接雇用からパート、派遣に移行はしているが増加傾向にある。
		学校【大学】（就職担当）	・リストラを経て反転攻勢を目指す企業と業績好調の勝ち組企業が中心となって採用を増加させている。
		学校【専門学校】（就職担当）	・採用側に、欲しい人材であれば採用していこうとする意欲がある。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車や一部のIT関連の求人数はしばらく堅調だが、スキルの高さを求められて採用に結びつかないケースも多い。
		職業安定所（職員）	・求人は対前年度でわずかではあるが増加の傾向にある。しかし、パートの増加を背景としており、一般求人は減少している。
	変わらない	職業安定所（職員）	・企業の早期退職、事業縮小などがまだまだ多いが、即戦力になる良い人材を求める募集も出始めている。
	職業安定所（管理部門担当）	・就職件数は伸びず、求職者の滞留は続いている。	
	民間職業紹介機関（経営者）	・自動車関連等が堅調な東海地域には県外からの人材流入が増加していたが、関東の大手メーカーの採用が復活しつつあるため、今後は県外からの採用人数に影響が出る。	
やや悪くなる	職業安定所（職員）	・不良債権処理の影響や経営難から、事業縮小にはしる中小零細企業が増加する気配がある。	
悪くなる	-	-	